



# 東京都社会保険労務士会 千代田統括支部 会報

発行人 千代田統括支部長 段下 正志

事務局 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-2-10-206

段下正志事務所内 ☎03(3288)0354

URL=<http://www.sr-ccs.com>



千鳥ヶ淵緑道(千代田区)

広報委員 市村公頼 撮影

- 新春研修会・賀詞交歓会
- 必須研修会
- 監督署 新規加入事業場説明会
- 実務修習セミナービー体験記
- 新入会員オリエンテーション
- おらが国自慢
- 社労士バンド WORKERS!
- 東京会主催支部対抗ボウリング大会
- 同好会のご紹介
- 政治連盟だより
- 新入会員情報
- あとがき

# 新春研修会・賀詞交歓会

平成26年1月14日（火）、お茶の水ホテルジュラクにて、新春研修会及び賀詞交歓会を開催しました。

新春研修会では、全盲のバイオリニスト穴澤雄介氏を迎えて、その素晴らしい演奏と「過去は変えられる。マイナスをプラスに」をテーマにご講演を頂きました。新春研修会に引き続き開催した賀詞交歓会には、石川雅己区長、大野実東京会会長をはじめ多数のご来賓をお招きし、新年のご挨拶を頂きました。



穴澤氏は、NHKラジオ第2放送「聞いて聞かせて」（毎週日曜日19：30～20：00放送）のテーマ曲「いちご畑と青い空」の作曲者です。

登壇と同時に「オレンジブロッサム」「星に願いを」「リベルタンゴ」「うちのわんこ」「共助（私にできること）」「明日へいざなう船に乗れ」と続けて6曲を演奏。録音済みのミュージックをバックに側でドラムを叩く高木将雄氏との2人のコンサートからスタートしました。

その奏でる曲を聴いていると、曲ごとに様々な情景が浮かんできます。中でも、「うちのわんこ」は、途中で口笛を挟みながらの演奏で、犬と一緒に足取りも軽く楽しそうに散歩をしているようでした。また、「共助」は東日本大震災の時に、「音楽家として何か恩返しをしたい。自分にできることを」との思いで、チャリティーコンサートを企画し、それに合わせて作曲したものです。「明日へいざなう船に乗れ」は、どんな時も明るい未来を信じて、前向きに頑張って行きましょうとの思いで作曲されました。

講演は、たまたまある中学校の芸術鑑賞に招聘された時に、演奏の合間に障害者との接し方についての話を依頼されたのがきっかけでした。何かもっと役に立つ話はできないかと考え、自分が障害者としてのコンプレックスをどう克服したか「逆境をプラスに変える」ことについて話したところ意外にも反響があり、それが保護者にも伝わり、その後PTAからも、そして企業からも声を掛けられるようになりました。

穴澤氏は、5歳からバイオリンを習い始めましたが、その当時は練習嫌いでした。

先天的に心臓と目に障害があったものの生來の盲目ではありませんでした。小学校5年のと

きに、初めて心臓手術を受け、それを境に目の障害が酷くなりました。学校で教科書を読ませられるのが恐くなり、それにつれて成績も落ちてきました。その後3回の手術を重ねる中で、徐々に視力が落ちてきて25歳で全盲になりました。

視力が落ちる中で、目が見えないなら音楽をやろうと思いましたが、中学2年の頃になると譜面の音符が見えなくなりました。それでも、バンドをつくって耳コピーで楽しくやっていました。高校は筑波大学附属の音楽科でクラシック・バイオリンを学びましたが、拡大コピーした譜面さえ見るのが厳しくなり、点字の勉強をし、点字楽譜に切り替えてなお読むことができませんでした。バイオリンの素質があったわけではなく、演奏については人の1.5倍努力をしても無駄だと思い、それならば即興と作曲をと思い勉強を重ねました。

ところが、そんなとき、父の事業の失敗により夜逃げ…。住居や食物にも困る事態に陥りました。高校を出ても仕事が無く、障害者の職業訓練校へ。やっとたどり着いた4畳半の部屋。バイオリンの弦を買うお金も当然無く、友人が新しいものを買うときに古い弦を貰ったりもしました。とにかく仕事をしようとライブハウスに応募するも、「経験があれば雇えるけどね」と言われ、どうすれば経験を積むことができるかを考えました。そこで、老人ホームや病院でボランティアでのコンサートを多く経験しました。「これでも経験として売れる！」、苦肉の策からアイディアを生み出してのマイナスからのスタートでした。コンプレックスや満たされない思いがアイディアを生み出すのだと思います。私達の仕事に通じる良いお話と素晴らしい演奏を堪能できた新春研修会でした。

（広報委員 安田 恵子）



# 千代田統括支部必須研修会

平成26年2月4日（火）、東京薬業健保会館において、必須研修会を「昼の部」と「夜の部」に分けて開催しました。研修テーマとしては、「マイナンバー制度」を取り上げました。

## マイナンバー制度が社労士に与える影響と今後の社会の流れ

講師 特定非営利活動法人  
東アジア国際ビジネス  
支援センター 事務局長 安達 和夫氏

研修では、平成27年10月から実施されるマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）について、行政手続きにおける特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下、マイナンバー法）や制度の解説とともに、社労士の業務に与える影響の観点から講義いただきました。

マイナンバー法は、平成25年5月24日に成立し、国民一人ひとりに個人番号（マイナンバー）を付番するマイナンバー制度が導入されることになりました。制度の目的は、「行政運営の効率化と国民の利便性の向上」です。特に、社会保障と税の分野に関しては、申告・給付の添付書類が不要になったり、手続きが簡素化されたりと、給付の公平性や負担の軽減が図られる効果が大いに期待されています。

今後の導入スケジュールについては、平成27年10月から「マイナンバー（番号）」の通知が始まります。翌平成28年1月にはマイナンバーの情報が入った「個人番号カード」の配付が行われます。これを機に、第1次導入として、社会保障や納税の手続きでのマイナンバー利用が開始されます。続いて、第2次導入として、平成29年に情報提供ネットワークシステムを稼働させ、国や地方自治体の各行政機関の間でもマイナンバーのやりとりができるようになります。加えて、自分専用のインターネットサイト「マイ・ポータル」で自分の年金情報や税金を確認できるサービスもオープンする予定です。

では、社会保険労務士が関わる労働・社会保険の手続きや給与計算の実務にはどのような影響があるのでしょうか。現在、詳細を検討中とのことですですが、大まかには次の通りです。

・社会保険に関連する申請・届出等に、「マイナンバー」



安達 和夫氏

の記載が求められる

・税務当局に提出する税務申告書や法定調書に、「マイナンバー」の記載が求められる

マイナンバーの記載が必要となる書類の代表例は、社会保険に関する書類

資格取得及び喪失、報酬月額や賞与額に関する書類が挙げられます。給与計算業務に関しては源泉徴収票（所得税の源泉徴収、住民税の特別徴収）などの支払調書です。

記載が必要となる時期は、社会保険と所得税に関する書類は、早ければ平成28年1月から、住民税に関する書類は、翌年申告のため平成29年1月の給与支払報告書の提出分からが対象となる可能性があります。

これにともない、会社としては、社員からマイナンバーを入手する必要があります。マイナンバーを入手するときは、通知カードまたは「個人番号カード」、そして本人確認書類等のコピーを添付してもらう措置等が必要になるでしょう。また、必要に応じて、社員の被扶養者等のマイナンバーを入手しなければなりません。具体的には、健康保険の被扶養者や年末調整時の扶養親族のマイナンバーです。

さらに、マイナンバー法では、法人等に「法人番号」が付番通知されることになりました。届出書類や法定調書には、個人を特定する「マイナンバー」の記載の他に、法人を特定する「法人番号」の記載も必要となります。

今回のマイナンバー制度の導入は、行政事務の効率化の達成にとどまります。今後の課題は、民間利用の検討、医療情報の取り込みなどによる利便性の向上です。「社会保険労務士は、行政と個人、企業の接点において現場をよく知っています。マイナンバー制度の活用法に関し、どうぞ社会に発信して欲しいです」と要望がありました。

（広報委員 青木 英治）

## 講師体験記

### 「労働保険新規加入 事業場説明会」

星名 真喜子（麹町・開業）



支部からのご推薦により、平成26年3月5日（水）東京労働局九段第3合同庁舎会議室において、「労働保険新規加入事業場説明会」の講師を務めました。

新たに労働保険の適用を受ける事業場を対象としたもので、約80社の方々にお集まりいただきました。最初に中央労働基準監督署の方から「労働保険の届出事務」「労災保険給付」「労働基準法」に関する説明があり、その後、私が「雇用保険と社会保険について」というテーマで説明を行いました。

限られた時間で、新たに事業を始めたばかりの方に、雇用保険と社会保険をまとめて理解していただくにはど

うしたらいいのか、大変悩みました。

そして、先輩の方々にいろいろとアドバイスをいただき、給付制度を中心に説明することにいたしました。保険制度は、「強制加入」「保険料を払わざる」といったマイナスイメージを持たれがちです。だからこそ、いざという時には会社や従業員の役に立つ必要な制度であることを伝えたいと思ったのです。

実際に登壇してみると45分間は思いの外短くて、予定していた内容を話し切るために最後の5分間は早口になってしまいました。「伝えたいことを伝える」ということの難しさを痛感しました。

受講側の時は何気なく聞いていましたが、セミナー講師の方々は伝えるための様々な工夫をしていることを改めて感じました。

このような貴重な機会を作ってください、本当にありがとうございました。

# 実務修習セミナー体験記

開業部会では、平成25年4月からの1年間、各月1回（全12回）の実務修習セミナーを開催しました。参加された受講生の方々お疲れ様でした。受講生を代表して3名の方の感想をご紹介します。

## 花澤 裕之（神田 勤務等）

小職は一般法人勤務であるため、給与や人事異動等の資料を顧問の社労士先生にお渡しした後の世界、即ちそれらがどのように処理されていくかについての知識が大きく欠如していました。

実務を知る機会の少なさに悶々としていたところ、タイミング良く実務修習セミナーのご案内があり、「未知の世界の扉を開けるわくわく感」をもって飛び付いた次第です。事務所を構える先生方の「生の声」を聞くことができる、大変良い機会を提供していただきました。

講義では、知識とその実務への応用に加え、「対人折衝の技」が事務所経営に必須であることに気づかされました。講師の先生方は皆さん「人当たりの術」を心得ておられるのですね。

感想を正直に申し上げます。講義は1回3時間、休憩が中一度の大学並みのロングランであり、会社勤務を切り上げて会場に向かい講義を受ける身にとっては相当ハード。

とはいえ、ボランティアで講義してくださる先生方の、一人ひとりのキャラクターに合ったお話には臨場感が溢れ、ぐいぐい引き込まれる魅力がありました。

各講座終了の都度、講師の方にくつついで飲みに行きたい意志を持っていても、体力が足らず断念せざるを得なかった点だけが心残りです。

セミナーを企画運営して下さった皆様、小職にとって実務修習セミナーは「必須研修」がありました。ありがとうございました。

## 原田 るみ子（神田 開業）

昨年2月に開業登録いたしました。登録はしたものの、限られた業種での実務経験しかなく、社労士の名刺を持って営業活動をするにも不安ばかりが先に立ちました。

そういう私に、昨年4月から始まった実務修習セミナーは正に渡りに船。経験豊富な諸先生方による講義は、毎回すぐに役に立つものでした。新米で知識不足の私にも理解できる丁寧なご説明、また興味深い経験談もたくさん聞くことができました。

受講者が眠くならないような工夫も満載で、多くの講義が、実際に手を動かして届出書類を記載したり、受講者同士が経験を語り合ったりという参加型の講義でした。そしてありがたかったのは、千代田統括支部の諸先生方がそこにいらっしゃるということ。困った事例に出会って判断に窮した時、相談さ

せていただけるという安心感があります。

社労士受験後、時間はすぐに経ち、法改正もあり、知識も風化していきます。今後もこのようなセミナーに参加させていただきつつ、社労士として間違いのない実務を遂行できるよう努力していきたいと思います。

この場をお借りして、講師の先生方はもちろん、有意義なセミナーを企画いただいた千代田統括支部諸先生方に深く感謝いたします。

## 大宮 一成（神田 開業）

早いもので、実務修習セミナーに参加させていただき、もうすぐ1年となります。実務経験もなく、また色々教えてくれる知り合いもいない私にとっては、この研修が、実務を習得する貴重な場となっていました。

参加する前は、失礼にも本当に知りたいことは、なかなか聞けないだろうと思っていました。

ところが、参加してみると、私のこの考えは間違いでした。講師の方々の実体験に基づく丁寧な講義は、大変ためになりました。何よりも、講師の方々の熱心さが、とても素晴らしいです。講義はもちろん、休み時間や講義終了後も教壇を離れず、私のとぼけた質問にお答えいただきました。また、後日厚かましく質問させていただいた時も、丁寧に教えてくださいました。

私にとってこの1年は、一つの事案に対して、四苦八苦しているような状況でした。何とか事案をこなしても、本当にあのやり方でよかったのかなと、いつも心配になりました。この研修に参加して、わからない部分の習得だけではなく、やり方が間違っていたといった安心も得ることができました。

研修が終わっても、さらなる努力が必要です。しっかりと今後も精進していきたいと思います。

最後に、このような研修を企画、運営してくださった諸先生方、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



# 新規入会者オリエンテーションを開催！

平成26年2月26日（水）、神田明神会館にて新規入会者オリエンテーション（平成25年1月～12月入会又は所属者対象）を開催しました。前半は、執行部から組織の活動内容を説明後、新入会員の皆さんに自己紹介とお一人一つ質問をしていただきました。新入会員と主催側先輩会員の熱意溢れる質疑応答は後半の懇親会中も続き、それぞれの思いを共有して親交を深めました。新入会員の方々からいただいた自己PRや今後の抱負等の一部をご紹介します。新入会員の皆さん、今後ともよろしくお願ひいたします。



オリエンテーション風景

★税理士会計事務所に勤務しております。今後も常に新しい知識の吸収に努めていきたいと思います。

【伊藤 由美・勤務等】

★勤務社労士だからこそできることは何だろうかと日々、考えております。外資系企業に様々な職種で15年ほど勤務した経験を生かし、微力ながら何らかの形で貢献させていただければと思っております。

【K・K・勤務等】

★事業主にとっては煩雑な諸手続を迅速に行い、スタッフの皆さんには規則や法律の分かりやすい言葉での周知を心掛け、労使ともに気持ちよく職務に専念できるよう頑張ります。【T・T・開業】

★社会保険労務士の世界は、思っていた以上に幅が広く、奥が深いと感じています。できるだけ多くのことを吸収していきたいと考えています。

【田中 恒行・勤務等】

★まだ専門分野の方向性も定まっていませんので、様々な研修会等に参加し、自身の得意分野を持っていきたいと考えております。

【林 舞衣子・開業】

★できるだけ、例会や研修に参加して法改正などに対応できるよう知識を充実させていきたいと思います。

【K・H・勤務等】

★税理士資格もあるので、社会保険のみならず、税金も考慮した総合的なアドバイスが出来ます。労働基準法をもっと勉強して、労働相談にも自信をもって対応出来るようになります。

【神田 浩志・開業】

★年金を中心とした一般のお客様に理解し難い社会保険の制度を分かりやすく説明し、従業員、経営者が安心して働けるよう社会に役立つ仕事を心がけていきたいと思っております。

【後藤 武・開業】

★社会福祉士として、福祉業界のコンサルティングを行っておりました。福祉で働く職員方のため、福祉サービスを利用される利用者のため、少しでも力になれたらと考えています。

【後藤 康浩・開業】

★改めて得意分野を持つことの重要性を認識しました。この機会に自分自身を見つめ直し、得意分野を構築し、更には確立していきたいと思います。

【坂田 陽太郎・勤務等】

★特定社労士に挑戦したいと思っております。年金関係も難しいとは伺っていますが、得意分野になるよう頑張っていこうと思います。

【高橋 恵子・勤務等】

★労使関係に興味があり、特定社会保険労務士を目指したいと考えています。26年度の特別研修にチャレンジする予定です。【中島 豊一・勤務等】

★損害保険会社において官公庁向けに営業を行なっており、自動車保険・火災保険・傷害保険・賠償責任保険等の提案や各種団体における新たな保険制度の構築を行なっています。

【沼田 江一郎・勤務等】

★実務経験ゼロ、得意分野なしですが、営業で鍛えた図々しさには多少の自負を持っております。研修会になるべく参加します。

【宮崎 正雄・勤務等】

★求人企業からの求人ニーズに対し、求職者と面談し、お引き合わせをしています。将来、特定社労士として労働紛争に対応できるスキルを磨いていければと思っています。【森川 敏昭・勤務等】

★法規理解を深めるとともに、他の社労士の方々と交流を深める事で新たな視点で物事を検証出来る力を醸成していきたいと思います。

【結城 学・勤務等】



懇親会風景



## 自然豊かな「栃木」

澤田 省悟 (麹町 開業)



私は栃木県の美味しい水と空気の中で育ちました。

栃木県は、世界遺産に登録された「日光二荒山神社・日光東照宮」など世界に誇る貴重な文化遺産が数多くあります。また、那須や鬼怒川など温泉地としても有名です。紅葉の季節などは、これらの場所で、とても美しい風景を観ることができます。私は、この季節になると日光の「龍頭の滝」の滝壺近くにある「龍頭之茶屋」

会員の皆様にお国自慢を

していただきました。

それぞれの自慢を読んでいると、

思わず旅行に行きたくなります…。

で紅葉に染まる滝を見ながら「おぐらだんご」を食べるのをとても楽しみにしています。

栃木には、心と体を癒す場所が沢山あります。大自然の美味しい空気と美味しい食べ物を体に吸収し、温泉に入り、贅沢なひとときを過ごすことができます。みなさんも是非、栃木の自然を体験してみてください。そして、お帰りの際は、「宇都宮の餃子」を食べてみてください。本当に美味しいですよ！



## 温かな庶民の味

山本 容子 (麹町 開業)



私のふるさとは、四国の香川県です。代表的な食べ物といえば、ご存じ「讃岐うどん」です。子どもの頃から、1日1食はうどんというくらいでした。瀬戸内海のいりこ（煮干）と昆布で出しをとった薄口のつゆに、茹で上がったうどんは格別においしいです。天ぷらや稻荷寿司、小鉢のチヨイスなどもあって、高校生の頃は、100円くらいで、部活帰りによく食べていました。どこでもそれなりにおいしいのですが、鄙びたところで、行列があるところは、お勧めで

す。ぜひ賞味していただきたいと思います。

生まれ育った観音寺市は、昨年ロト宝くじで16億円の当選が出て話題になりました。遠浅の砂浜には銭型の大きな砂絵があり、小高い丘にはみかん畑があります。のどかですが、宝くじの幸運を後押ししているような景色にも見えます。

そんな地元の高校の同窓生は現香川県知事、そしてうどん県の副知事は俳優の要潤です。



## 「ここは本当に日本なの？」

石本 剛 (神田 開業)



15年前はじめて私のふるさと北海道別海町（べつかいちょう）を訪れた妻の感想です。東京都のおよそ6割の広さにたった1万の人口。乳牛やエゾシカはもちろん、キタキツネやヒグマすら人と生活圏を重ねる道東の大自然に、彼女がしばし圧倒されたのも無理はありません。主要な産業は酪農と漁業、特に生乳品質は評判高く、あのハーゲンダッツアイスの原料指定産地となっています。世界自然遺産の知床や透明

度世界一霧の摩周湖、ミシュラン北海道版上位の養老牛温泉も近く、札幌小樽や函館旭川に飽きた北海道ファン上級者も唸らせる豊富な観光資源も。真冬は気温-20℃となる厳しさですが、遅い春一斉に吹き出す緑、白樺の白と空の淡青を見上げながら、短い夏が終わります。

いつか機会がありましたら、さまざまな季節で、冷たく澄み切った空気を、陰影に富む美しさを、ぜひ体感しに来てください。





私がマネージャーを務めている社労士バンド「WORKERS! (ワーカーズ)」を紹介します。WORKERS! は社労士による日本初の法律系ロックバンドで、楽曲のコンセプトは「働く人たちへの応援歌」。社労士の専門分野である年金・労災・雇用保険・健康保険等の各種社会保険や労働法全般をテーマに、オリジナル楽曲の創作活動をしています。バンドという手段を使い、社労士自体の認知度アップや一般の方に馴染みのない法律を身近に感じ、知ってもらうという社会貢献活動をしています。作詞・作曲・

編曲はすべて彼ら自身で行っており、「社会保険ロックンロール」「ハローワークのうた」「プロポーズ～第3号被保険者になってくれ～」「ハタチの約束～国民年金～」といったタイトルの曲が並びます。2011年に結成。2013年9月にはオリジナルCDアルバムを完成させ、メンバーの地元静岡県三島にて350人規模の単独ホールライブを開催。今年1月には社会保険労務士法制定45周年記念式典に、3月には福島で行われた45周年記念事業「東日本大震災復興支援講演会」にゲスト出演させていただきました。ぜひ今後とも社労士の皆様からの応援をよろしくお願ひいたします。最近は楽曲制作の依頼やイベントへの出演依頼が増えております。その際はマネージャーの私原田までご連絡ください。インターネットで「社労士バンド」と検索していただきますと公式ブログやHPが見られます。

(麹町・勤務等 原田 圭)

## 東京会主催支部対抗ボウリング大会

平成26年2月19日(水)、東京会主催支部対抗ボウリング大会が「田町ハイレーン」で行われました。当支部からも、2チーム8名が参加し、優勝は逃したものの5位と健闘しました。優勝は、前年に引き続き港支部です。当支部会員の青木哲郎氏はシニア部門で優勝しました。メンバー8名は、各3ゲームを投げ、尻上がりに高スコアを出しましたが、優勝を勝ち取るまでには至らず、来年に期待です!。

Aチーム		Bチーム	
青木 哲郎	柏木 寿人	段下 正志	橋本 敬司
浅井 英憲	和田 稔	酒井 裕樹	春原 繁



ストライクで歓喜!

### 同好会のご紹介

	代表者／担当者	会 費	今後の活動状況等
野球同好会	監 督：味園 公一	入会金 3,000円	当支部の野球部は30年以上の歴史を有する同好会です。毎年、東京会主催の親睦野球大会に参加しており、平成25年の大会では3位と健闘しました。会員だけでなく職員の方の参加も可能です。親睦と健康保持を目的として集まり、試合はもとより練習終了後も毎回盛り上がっています。同好会への参加をお待ちしています。
	事務局：橋本 敬司 T E L : 03-3262-1433	翌年以降 年 3,000円	
スキー同好会	代表世話人：恩田和明 T E L : 03-3256-4451	登録費 1,000円	25年10月、2泊3日で日光白根山へのハイキングを実施。26年1月には北海道名寄ピアシリスキー場へ3泊4日で、2月には岩倉スキー場へ2泊3日でスキー旅行を行いました。入会希望者は世話人までご連絡ください。
	世話人：藤井 しのぶ T E L : 090-5768-2911		
ゴルフ同好会	幹 事：春原 繁 柏木 寿人 十左近 三生 T E L : 03-3222-5820	コンペ時にその都度、コンペ会費を3,000円程度	ゴルフ同好会の活動は、年に3回程、都内近郊のコースで開催するコンペが中心です。ゴルフが好きの方、会員と親交を深めたい方であれば、腕前は問いません。スポット参加もOKです。和気藹々ゴルフを楽しみましょう。
歌舞伎同好会	世話人：青山 弥生 T E L : 03-3239-2266	年会費 1,000円	今年も6月20日(金)夜、国立劇場にて歌舞伎鑑賞教室を開催します。10月にはシネマ歌舞伎(映画)を鑑賞する予定です。新歌舞伎座での鑑賞も計画中です。生の歌舞伎は面白いですよ。
ボウリング同好会	世話人：橋本 敬司 T E L : 03-3262-1433	その都度、実費負担	平成25年よりスタートした新たな同好会です。現在会員数16名。毎月第2水曜日に東京ドームボウリング場で例会を開催しています。今年の2月19日の東京会主催のボウリング大会に2チーム8名(支部予選の結果、全員同好会会員)が参加いたしました。個人成績等は支部HP掲示板にUPしました。是非、同好会にご参加下さい。

## 政治連盟だより

支部会員の皆様こんにちは。皆様のご理解とご協力の下にこの1年間の支部政治連盟として与えられたスケジュールを無事に完了することができました。誠にありがとうございます。誌面をお借りして御礼申し上げます。

新たな年度に入ることとなります。今年度は次の事業を中心活動してまいります。

- 千代田区指定管理者労働環境モニタリング業務のサポート
- モニタリングの結果を受けての労働環境改善業務受注作業のサポート
- 学校教育の現場における社会保険労務士の活用を千代田区教育委員会にアピール
- 公職選挙が実施される場合の政治活動

また、今後も、支部会員の皆様に対して、政治連盟の活動状況を適宜お知らせしながら、ご意見やご要望を拝聴してまいりたいと思います。さらに、支部政治連盟で解決できる事項は速やかに対応し、それが難しい場合は東社労政治連盟に伝え対応を求める。議員等の公職選挙に関しても支部政治連盟はいわゆる「政党」ではないため支部ホームページの掲示板等で皆様に特定の候補の推薦をお示しして投票の依頼をすることはできません。例会等の場でお伝えすることのみになります。支部会員の皆様におかれましては、是非とも例会に参加され、お声かけ頂き、ご意見等をお寄せ頂ければ幸いです。今年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

政治連盟支部会長 橋本 敬司

## 新入会員を紹介します

平成25年11月1日～平成26年1月31日

入会年月日	氏名	種別
H25.11.1	朝日向 喜一	勤務等
H25.11.1	後藤 信二	勤務等
H25.11.1	田辺 良一	開業
H25.11.1	林 舞衣子	開業
H25.11.1	村田 敏和	開業
H25.11.1	森川 敏昭	勤務等
H25.11.1	山陸 妙子	勤務等
H25.11.20	政近 陽子	勤務等
H25.11.30	辻 雅治	勤務等
H25.12.1	坂田 千江子	勤務等
H25.12.1	中島 豊一	勤務等
H25.12.1	副島 良太	勤務等
H25.12.16	馬場 栄	法人社員
H25.12.16	矢島 秀悟	法人社員
H25.12.31	伊藤 幸広	勤務等

入会年月日	氏名	種別
H25.12.31	上田 俊一	勤務等
H25.12.31	貴船 泰幸	勤務等
H25.12.31	久保田 俊史	勤務等
H25.12.31	組田 洋平	勤務等
H25.12.31	戸辺 良一	勤務等
H25.12.31	日浅 勝和	勤務等
H25.12.31	藤井 しおる	開業
H25.12.31	藤田 久子	勤務等
H26.1.1	内田 綾	勤務等
H26.1.1	神井 香緒利	開業
H26.1.1	後藤 武	開業
H26.1.1	坂田 憲宏	開業
H26.1.1	末松 弘美	勤務等
H26.1.1	田形 正広	勤務等
H26.1.1	高橋 桂也	開業

入会年月日	氏名	種別
H26.1.1	高橋 知子	開業
H26.1.1	高橋 正徳	勤務等
H26.1.1	田中 恒行	勤務等
H26.1.1	田中 有紀	勤務等
H26.1.1	千葉 秀幸	勤務等
H26.1.1	中谷 行道	勤務等
H26.1.1	沼田 江一郎	勤務等
H26.1.1	服部 雅幸	勤務等
H26.1.1	松尾 和美	勤務等
H26.1.1	結城 学	勤務等
H26.1.1	渡辺 翔	勤務等
H26.1.23	大川 久代	勤務等
H26.1.27	大迫 康紘	勤務等
H26.1.27	長田 義治	勤務等
H26.1.31	田村 好広	勤務等

## あとがき

この冬、東京都心でも記録的な大雪に見舞われました。玄関のドアを開けると、「ここはどこ?」と思うほど、見渡す限りの銀世界が広がっていました。この寒さがずっと続くのではないかと心配しましたが、やがてコートが邪魔になり、サクラの花も咲き、いつもの春がやってきました。

32年間続いた、フジテレビの国民的番組(?)「笑っていいとも!」も、この春、終了となりました。中学の国語の授業で、「諸行無常」と教わりましたが、この世に存在するすべてのものは、永久不変なものなど何もないですね。良いことも、悪いことも、ずっと続くことなど何もない。タモリさんの顔を見ながらそんなことを思いました。

……チャンネルを変えると黒柳徹子さんの「徹子の部屋」のCMが流れていました。もしかしたらこの番組だけは「永久」に続くのかもしれません。

(広報委員:羽生 秀紀)

新年度になりました。春はいつでも新たな気持ちをもたらしてくれます。自身の誕生日も春にあるため最真面目もありますが、ワクワク感が高まるこの季節が好きです。

さて、私が広報委員会のお手伝いをさせていただくようになって1年が経ちました。一般企業の人事部に所属する私は、ともすれば人的ネットワークや公私の活動が社内に限定されがちですが、念願の社会保険労務士になり、千代田統括支部の皆様に温かく迎えていただき親交を深めていく中で、会社の中では得られない出会いや学びがたくさんありました。支部会報制作活動の中でも、また新たな発見と価値観の変化があり、社労士の専門分野以外にも学ばなければならないことがたくさんあると実感させられた次第です。まずは目の前のこと一つひとつにベストを尽くして成長していきたいと思っています。

良い出会いで、早く人生のパートナーも見つけなければ…。

(広報委員:長崎 明子)